

在学生へのアンケート結果の一例

大学教育改革地域フォーラムin金沢大学(7/10) 会場からの意見①

meatchannel チャンネル登録 41本の動画

9 コース・専攻・ゼミ等の決定 ★

1. 第一志望のところに所属できた 79%
2. 第一志望のところに所属できなかった 9%
3. 入学後、所属選択の経験が無い 12%

152回再生

meatchannelさんが2012/09/20(1)公開
平成24年9月20日に金沢大学で行われた「大学教育改革地域フォーラム」のパネルディスカッションの様子です。(映像提供:金沢大学)

すべてのコメント (0)

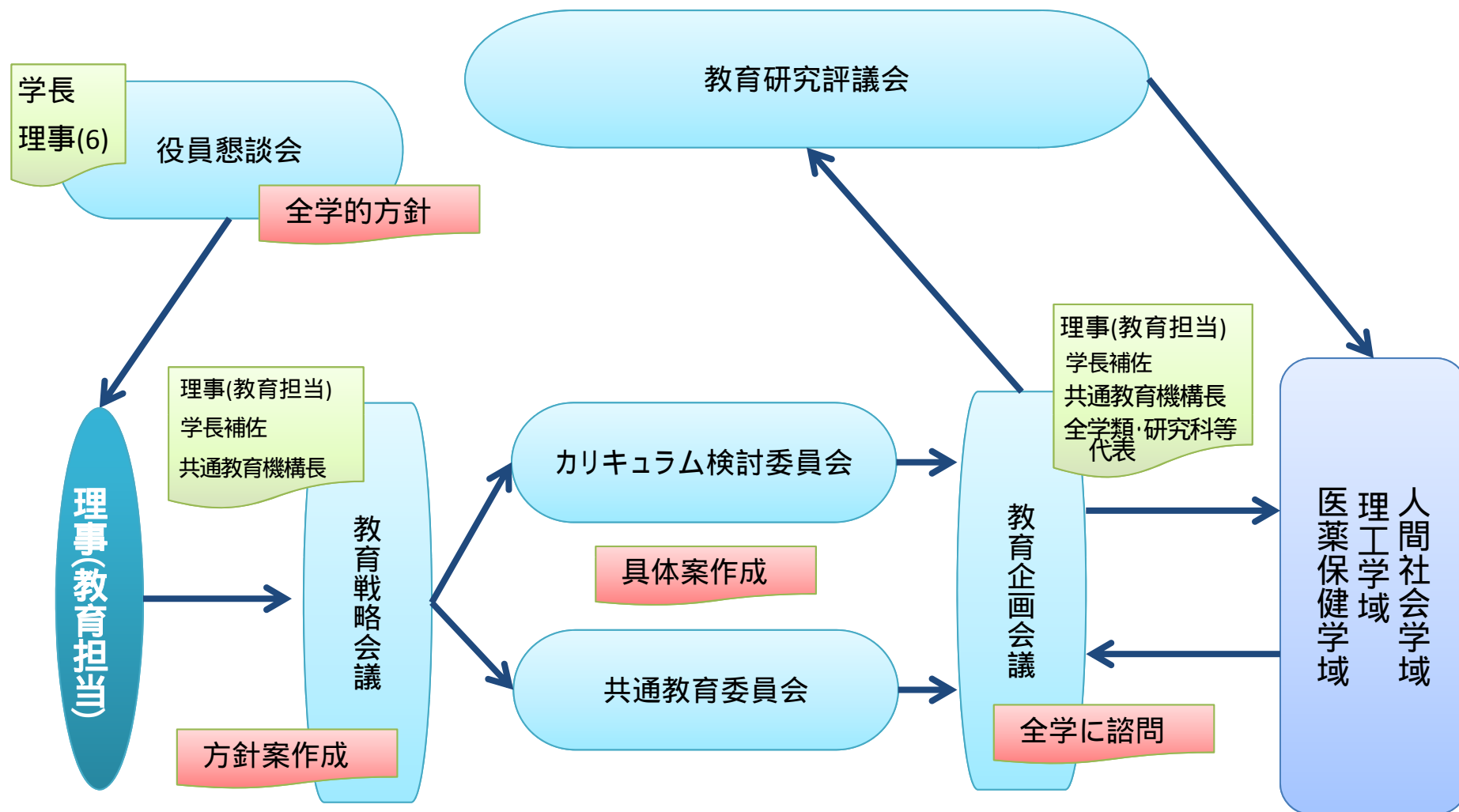
コメントを投稿するにはログインするかアカウントを作成してください

ページが表示されました

ATOK 速読 漢検 辞書

12:50 2012/11/08

教育改革 プロセス



共通教育特設プログラム

? 「共通教育特設プログラム」とは

毎年1000以上開講される共通教育科目を、目的意識をもって履修できるよう、平成23年度に開設したものです。いずれかの特設プログラムを履修することで、自分の立ち位置を見きわめ、21世紀の社会に責任を持って生きるための叡智と指針を体得できるよう、組み立てられています。

6 平成24年度共通教育特設プログラム

平成24年度には、以下の6つのプログラムが開設されます。

各プログラムは複数の共通教育科目から構成され、修了要件が定められています。それぞれの構成や修了要件については、2012年度版『共通教育科目履修案内』(69～77頁)または2012年度版「共通教育科目履修案内(共通教育特設プログラム抜粋版)」で確認してください。

環境・ESDリテラシー

英語ステップアップ

英語国際コミュニケーション

歴史学

健康・自己管理

キャリア開発

学士課程教育の体系化・可視化

カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成・実施方針（CP）

ディプロマ・ポリシー：学位授与方針（DP）

学習成果

授業科目

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ツリー

各授業科目と学年進行との関係



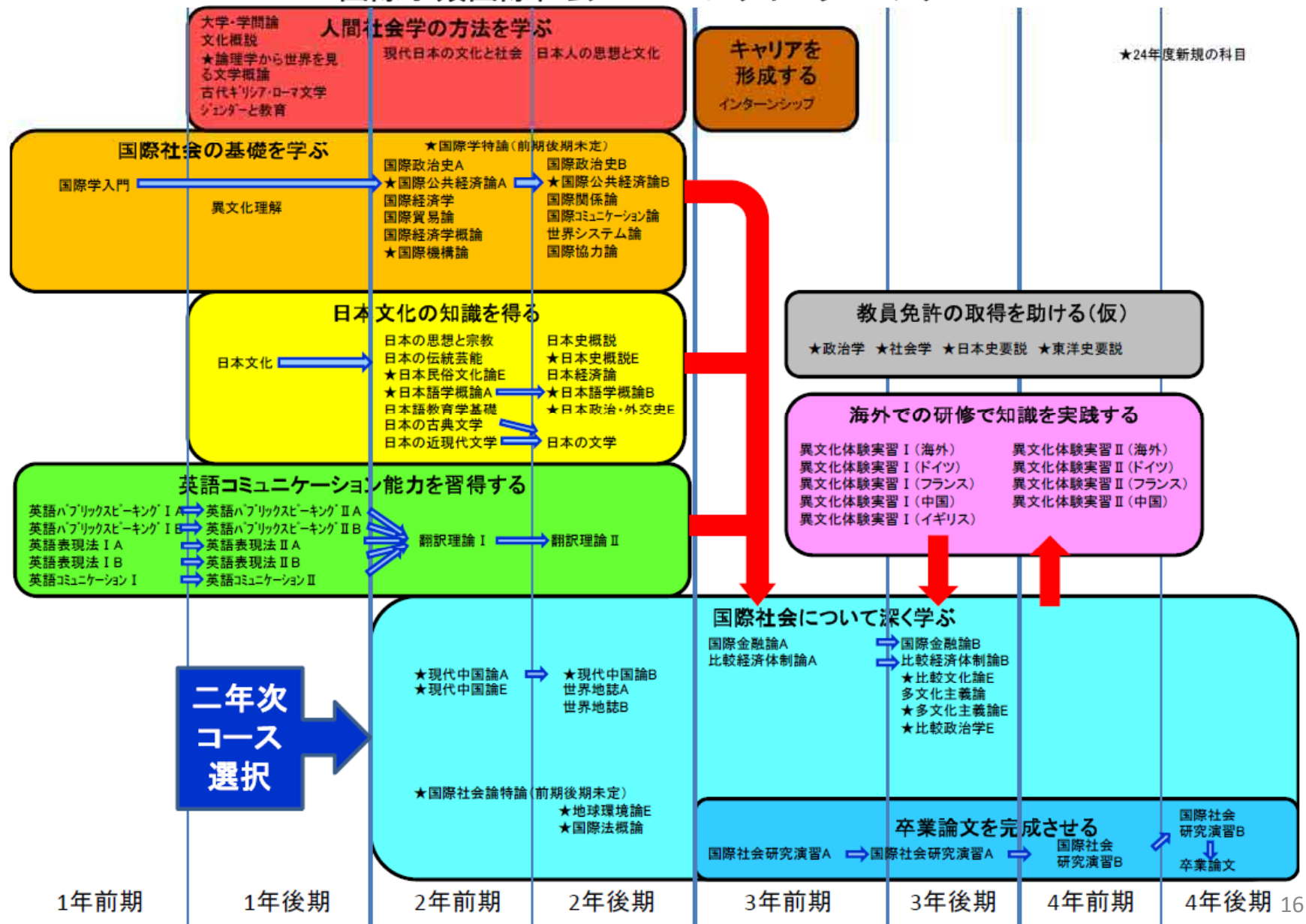
シラバス

学生の授業評価

成績評価基準

カリキュラムツリー

国際学類国際社会コース カリキュラム・ツリー

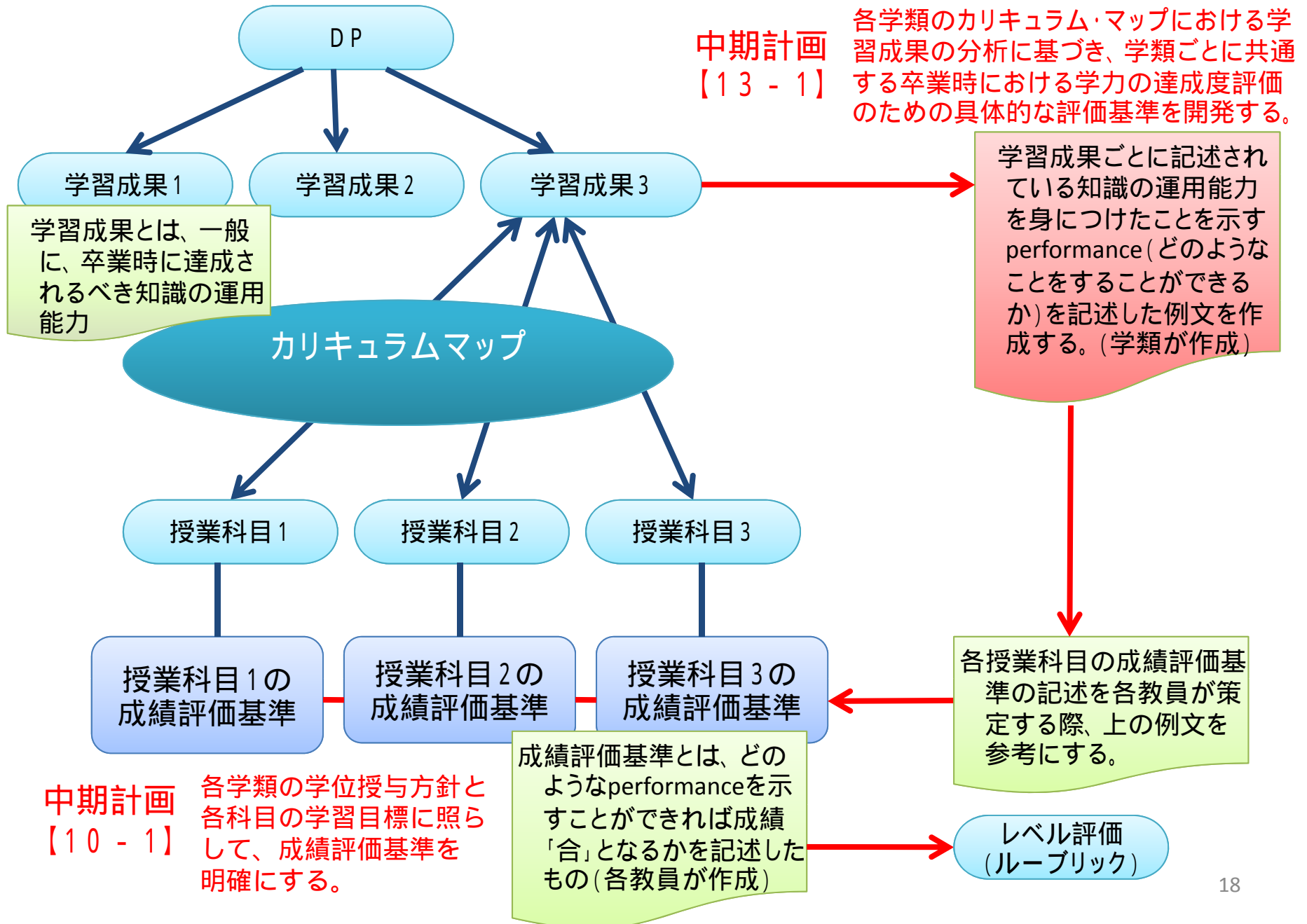


カリキュラムマップ

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	国際社会コース

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)				コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)						
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化との(しなやかな共生)を実現できる真の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。				グローバル化する現代社会をマクロ的視点からの確に理解するための力を育て上げるために、国際政治、経済、歴史、文化などについての知識を習得するとともに、それらを総合し、国際的感覚と視野を広げると同時に、その理解を深めるために英語などの高いコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。この人材育成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。						
学類およびコースのGP(カリキュラム編成方針)				コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)						
<p>【学類のCP】</p> <p>必修科目(「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」、専門基礎選択必修科目(国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位)、専門選択必修科目(24単位必修)、選択科目(「インターンシップ」、「異文化体験実習」を含む22単位)など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。</p> <p>【コースのCP】</p> <p>国際社会コースのカリキュラムは、政治学、経済学、社会学、歴史学、等々の学問諸領域に縦割りに置かれていた国際関連の個別研究を統合することを目指している。近年、「学際的」な学問の発展が求められているが、国際社会の研究もその一つであり、国際社会コースで学ぶ学生は、人間科学と社会科学に多数の研究者を擁する金沢大学で構築される「国際学」のすぐれた研究成果を、綿密に立てられたカリキュラムのもとで学ぶことができる。</p>				<p>国際問題を理解するために必要な基礎的科目で得た知識を習得している。</p> <p>国際社会に関する専門的知識が系統的に学習され、それについての深い知見を有している。</p> <p>現代社会をマクロ的に展望する能力を習得している。</p> <p>国際社会に関して学んだ知識と理解などに基き、外国語のコミュニケーションを通して充分な自己表現能力を獲得している。</p> <p>国際社会に関する専門的知識に基づき、自主的に興味を持つテーマを見つけ出し、それを独自に考察し研究する能力を習得する。</p> <p>日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得している。</p>						
コース(専攻)のカリキュラム										
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期					
16047	日本語学概論B	主として現代日本語を中心に、外国人に対する日本語教育や日本人のための国語教育にとって必要な日本語の基礎知識のうち、音声、語彙を中心に学び、日本語への理解と関心を深めることができる。	2		*					◎
16021	日本語教育学基礎	・日本語教育をグローバルな視野で概観できる。 ・日本語教育の視点から、現在、世界や日本で起こっている現象を理解する。 ・外国人から見た日本語についてや、日本語を外国語として教えるための基礎的な事項を理解する。	2	*		△			◎	○ ◎
16022	日本の文学	日本の文学伝統を具体的に理解する	2		*					◎
16023	日本の古典文学	日本の古典文学に関する基礎的な知識を獲得すると共に、その受容の歴史について理解を深める	2	*						○
16024	日本の近現代文学	語りや視点を意識して文学作品を読み解く意識付けができるようになる	2	*						17 ○

第2期中期計画(達成度評価と成績評価基準)



第2期中期計画(授業形態の多様化)

金沢大学

中期計画【8 - 1】

授業形態を多様化し、少人数教育やTAの活用を推進する。

- ・教育改革部会による「授業形態の多様化とTAの実態調査」 平成22年10月
- ・調査結果の分析を踏まえ、「DPのもとに列挙されている学類の学習成果に照らして、とくに授業形態の尺度となる演習・実習・実験・実技等の科目をさらに充実させる」ことについて、共通教育機構、各学類で検討
- ・専門科目でのアクティブ・ラーニングの事例についての情報共有
工学系創成科目、医学系チュートリアル、PBL型インターンシップ、
法学系の大人数双方向授業などについての報告会
- ・TAモデルの開発
FD研修会、「授業形態の多様化とTAの実態調査」を踏まえ、教育改革部会の下にTA制度改革WGを設置、大人数講義科目やゼミナールなどで担当教員とWGとの連携によるTAモデル開発に着手

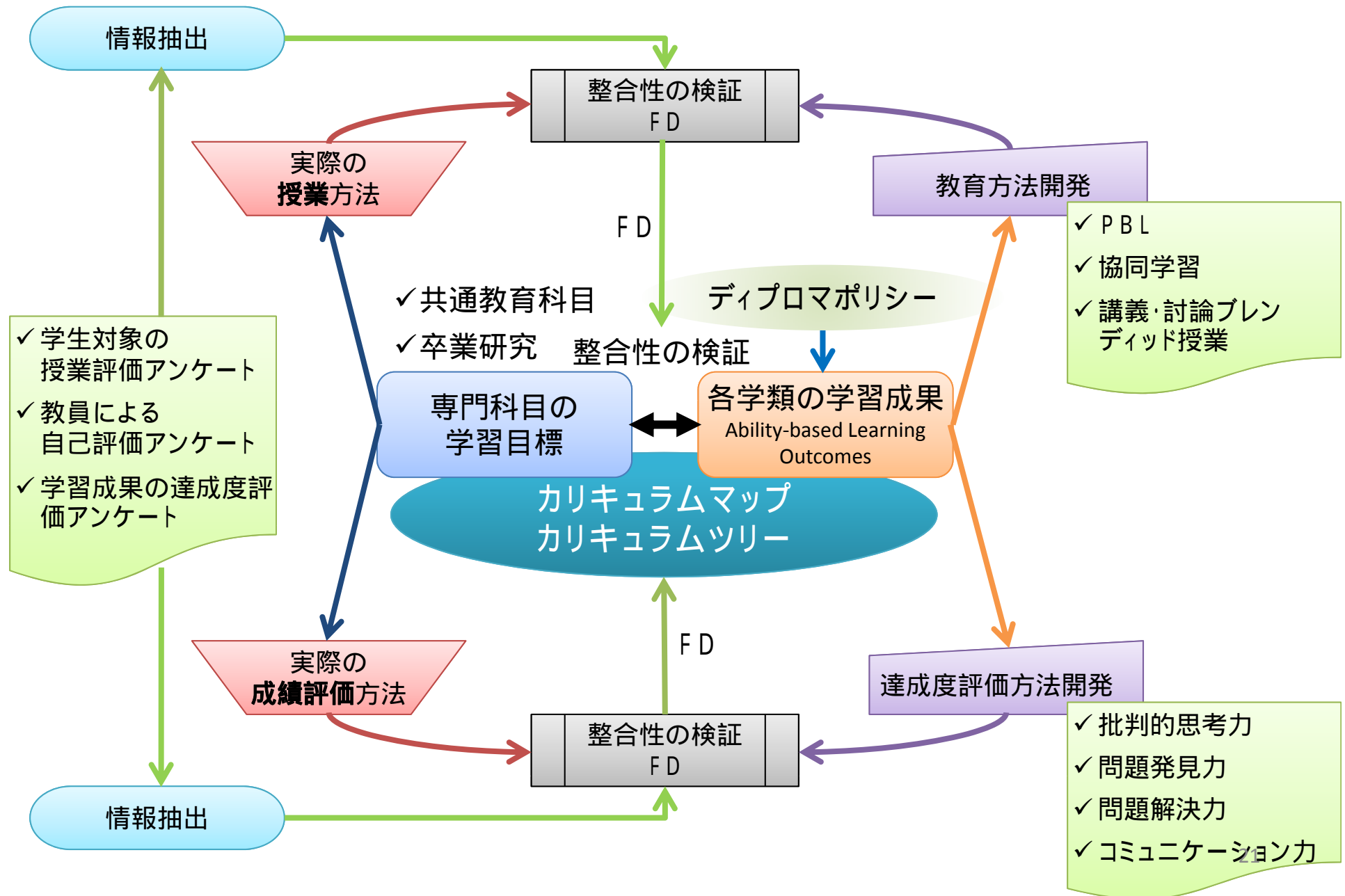
第2期中期計画(授業評価アンケート等)

金沢大学

中期計画【13 - 2】授業評価アンケートや学習成果についての教員対象のアンケートを活用し、教員の教育能力向上を支援する。

- ・授業科目の実際の授業内容・方法がカリキュラムマップ上で対応付けられる学習成果の達成に有効であったかどうかを問う受講生対象の授業評価アンケートと教員による自己評価
- ・学類の学習成果の達成度を問う1～3年次学生、卒業予定者対象の年度末の学習成果の達成度評価アンケート
- ・学類の学習成果を社会で求められる能力に照らして有効であるかを問う卒業生対象のアンケート
【本学工学部における卒業生アンケート(平成12年度～)】
- ・以上のアンケートで得られた情報を、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー、各授業科目の教育内容・教育方法の検証データとして活用

第2期中期計画に基づく内部質保証システムの構築





ご静聴ありがとうございました。